

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2025年(令和7年)7月15日号 No.1996

目次

■ 2024年の米口貿易の総括と展望	1
■ 統計速報	15
2025年1～5月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／15	
2025年1～5月の日口貿易／16	
■ キーパーソン	19
ロシア運輸大臣、解任後に自殺／19	
■ トピックス	20
天皇皇后両陛下、モンゴルを訪問／20	
日本の漫画作品の無断使用に賠償判決 ロシア仲裁裁判所／20	
五常、ウズベクの小規模金融に出資／21	

2024年の米口貿易の総括と展望

(一社)ROTOBO ロシアNIS経済研究所
部長 齋藤 大輔

はじめに

2024年、米国はロシアとの間でどのような貿易を行ってきたのか。制裁強化で、ロシアとの関係断絶が進む中、二国間貿易は、どのように変わったのか。2024年の米口貿易を振り返るとともに、今後を展望してみたい。

1. 3年で1割以下に縮小

米統計局(USA Trade Online)が発表した貿易統計によると、昨年1年間の米国とロシアの貿易額は35億3,357万ドルとなり、前年比31.7%減少した。360億ドルだった2021年から一転、3年連続で大幅な落ち込みとなり、3年前と比べて90.2%減少し、全盛期の10%以下にまで縮小した。

米国は日本や欧州諸国とともに、ロシアによるウクライナ侵攻を非難し、厳しい経済制裁を次々と科す。バイデン政権は、もうこれ以上科すことがないというほど制裁を強化し、ロシアに対する圧力を最大限に高めている。その結果、米口貿易は他の西側諸国と比較しても、とくに大きく落ち込んでおり、英国と並んで、制裁の厳しさが際立っている。

2024年も、侵攻を続けるロシアに対し、禁輸対象品目を拡大したり、ロシア金融機関に制裁を科したりするなど、厳しい態度を続けた。その影響は、日本など西側諸国の対口貿易やロシアでのビジネスにも波及した。ロシアとの対立が長期化する中で、ロシアとの経済的な結びつきがさらに弱まった。